

令和6年7月12日

保護者のみなさまへ

名古屋市立菊里高等学校長
久木田 隆宏

「情報モラル啓発資料」の活用について

スマートフォンやタブレット、通信可能なゲーム機が子どもたちにも急速に普及し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）もたいへん身近になっています。学校においては、これからの情報化社会の中で子どもたちが自らの行動に責任をもつとともに、危険を回避し情報を正しく安全に利用できるようにするため、情報モラル教育を進めています。

ご家庭においても、子どもたちを取り巻く状況をご理解いただきながら、お子様と一緒にインターネットなどへの関わり方を話し合っていたきたいと思い、タブレットなどで閲覧できる情報モラル啓発資料を用意しました。ぜひご活用ください。



＜閲覧方法＞

- 右のQRコードから閲覧ページに入ることができます。
URL : http://www.nagoya-c.ed.jp/ac/joho/johomoral/index_moralkei.html
- 啓発資料は、「保護者用」「児童用（小学生向け）」「生徒用（中高生向け）」があります。
必要な場面や実態に合わせて、ご利用ください。
- 資料のタイトルの例（一部）

【保護者用】

- ・ 子どもたちが加害者になってしまう事案について
- ・ 子どもたちの適切なインターネット利用のためのルール作りについて
- ・ SNSなどのサービスには年齢制限があります

【児童用(小学生向け)】

- ・ パスワードは大切な情報です
- ・ 情報モラルってなんだろう？
- ・ タブレット端末は学習のためのものです！

【生徒用(中高生向け)】

- ・ 文字を使ったコミュニケーションの特徴
- ・ SNSのメリットとデメリット
- ・ インターネットの長時間利用の危険性

など

※ 参考として、啓発資料の一枚を裏面に印刷しました。

＜留意点＞ 以下の行為はご遠慮ください。

- ・ 学校教育及び家庭教育以外での使用
- ・ 他者への送信
- ・ 一部を加工（切り取り等）して資料を作成するなどの2次利用行為

子どもたちの適切なインターネット利用のためのルール作りについて

子どもたちのインターネット利用には危険がつきものです。フィルタリングソフトやウイルス対策ソフトなどを導入することももちろん必要ですが、1番重要なことは、各ご家庭でインターネット利用に関するルールを作成し、子どもたちが適切な使い方を身につけていけるように支援することです。

子どもと話し合い、具体的なルールの作成を

ご家庭でルールを作る際は、「なぜルールが必要なのか」を子どもにしっかり理解させてルールを決めることが大切です。そうすることで、インターネット上の事件から自分の身を守り、安全・安心にインターネットを活用できるようになります。そのためのポイントを以下に紹介します。

ポイント

子どもと話し合ってルールを作りましょう！

保護者が一方的にルールを決めても、子どもはなかなか積極的に守ろうという気にはなれません。家族で話し合い、「なぜそのルールが必要なのか」を子どもにしっかりと考えさせ、子どもが自主的に守ろうと思えるように取り組みましょう。



ポイント

具体的なルールを作りましょう！

例えば、「平日はインターネットを使いすぎないようにする」のようなあいまいなルールだと、子どもの感覚や気分によって利用時間が変わってきてしまいます。
「平日のインターネット利用は〇時間まで」
「平日夜〇時以降はインターネットを使わない」といった具体的なルールを作ってください。

10時になったからネットは終わり



<ルールを作成したら……>

作成したルールは、誰もが見ることが可能な場所に掲示してください。それによって、子どもに常に「ルール」を意識させることができます。また、中高生であればスマートフォンの「貸与契約書」という形で書面に残し、ルールを守らなかったときのペナルティも作成しておくといいかもかもしれません。

重要!

ルールは定期的に見直しましょう！

子どもたちは日々、インターネットのいろいろな使い方を覚えていきますし、現行のルールを窮屈に感じることもあるはずです。そこで、半年に1度など時期を決めて、子どもと話し合ってルールを見直してください。



ルールを作成するのは大事ですが、子どもがすぐに守らなくなるようでは意味がありません。そのルールの必要性を子どもがしっかりと理解して、自主的に守っていけるような取り組みを、各ご家庭で子どもと話し合って行ってください。